

北上市総合計画 2021～2030 令和6年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和5年度）

| | |
|------------|-------------------|
| 基本方針 | 6.健康と安心の地域づくりの推進 |
| 基本施策 | 6-2.お互いを支え合う地域づくり |
| 関連するプロジェクト | 6.いきいき元気ライブプロジェクト |

生涯にわたって安心して暮らすことのできる地域づくりをさらに進めるため、一人ひとりの人権を尊重する「心」とお互いを支え合う地域福祉活動を基盤に、自殺予防、介護予防・生きがいづくり・自立支援の一層の充実など、様々な状況にある市民を支える地域共生社会の実現に取り組みます。

| | | |
|------|---|---------|
| 評価項目 | A | 順調 |
| | B | 概ね順調 |
| | C | やや遅れている |
| | D | 遅れている |

| | |
|------|----------|
| 総合評価 | B |
|------|----------|

| | |
|------|-----------|
| R6事後 | 14 |
|------|-----------|

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

| No. | 担当部署 | プロジェクト | 推進方針 | 成果指標 | 達成状況(対象：R5) (上段：指標に基づくもの 下段：指標以外のもの) | 達成状況評価 | 達成状況分析(上段：指標に基づくもの 下段：指標以外のもの) | | 今後の方向性 (◇：R6に着手予定・着手済み ◆：R7以降の着手を検討) |
|-----|--------|--------|--|------|---|--------------|---|---|--|
| | | | | | | | 内部要因 | 外部要因 | |
| 1 | 福祉部 | ● | 高齢社会を支える「しくみ」づくり 権利擁護に関する制度の周知、普及啓発、相談窓口の明確化を行うとともに、司法、福祉、保健、医療の専門職と連携し、権利擁護支援の地域連携ネットワーク体制の構築を行う。 | ① | 高齢者・障がい者のサービス提供事業所における制度の認知度(58%)であり、前年度(59%)とほぼ同数であった。 ・成年後見制度利用促進審議会の開催 3回 ・地域連携ネットワーク会議の開催 4回 | B (B) | 広報の推進により制度の周知が図られた。 ・支援者向けの出前講座・研修講師(4回)、 ・市民向け出前講座(5回)、市民向け講演会(1回) 市民向け講座(1回) ・権利擁護支援者向け勉強会(1回) ・医療従事者向け研修会(1回) | 第2期成年後見制度利用促進基本計画(国計画)が策定されたことで改めて制度が周知された。 | ◇制度周知のための市民向け講演会、勉強会、相談会、出前講座の開催 ◇障がいの子を持つ親向け勉強会 ◇権利擁護支援者向け勉強会 ◇医療従事者向け権利擁護研修会 ◇審議会、ネットワーク会議の継続開催 ◆市民後見人の養成・育成に向けた検討及び実施 |
| 2 | 福祉部 | ● | 高齢者を支え合う「ちいき」づくり ご近所おたすけサポーター養成講座の実施やボランティアポイントの活用により、新たな担い手の育成を行うとともに、関係機関と連携して高齢者を支える場の創出を図り、地域における活動の活性化を図る。 | ② | ・介護予防ボランティア(ご近所おたすけサポーター養成講座の受講者数)は391人(期待値403人)だった。 ・高齢者集いの場づくり事業の実施団体が7団体増加し、15団体となった。 | B (B) | ・ご近所おたすけサポーター養成講座のプログラムを見直したことで、受講者の興味をひく講座となり、受講希望者が増加した。 ・いきいき体操グループに、高齢者集いの場づくり事業のチラシを送付し、事業の周知を図った。 | | ◇ご近所おたすけサポーターに求める役割を明確化し、養成講座とのフォローアップ研修の内容を整理する。 ◇生活支援コーディネーターによるご近所おたすけサポーターの後方支援やフォローアップ体制を整備し、居場所づくりや地域における支え合いを推進する。 |
| 3 | 福祉部 | ● | 認知症バリアフリーの推進 認知症サポーター養成講座の開催を推進し、全世代に認知症に対する正しい理解を広めるとともに、本人や支える家族の視点を大事にした支援体制の構築を図る。 | ③ | 認知症サポーター養成講座を36回開催し、1,093人を養成した。人口に占める認知症サポーターの割合は、12.8%であり、増加傾向にあるが、期待値を下回っている。 認知症VR体験の開催、認知症サポーターステップアップ講座の開催 | B (C) | 地域包括支援センターと協力し、地域や民間事業所等に働きかけ、講座の周知を図った。 その結果、令和4年度は24団体からの申込であったが、令和5年度は34団体と増え、特に地域からの申込件数が増加した。 ・高校生や専門学校生を対象に認知症理解促進のため、認知症サポーター養成講座、認知症VR体験を開催した。 ・小学生への孫世代のための認知症講座では人型ロボットのペッパーを使用した。 | | ◇高齢者見守り安心ネットワークの事業者や福祉協力員に講座の周知を行う。 ◇講座プログラムを見直し、孫世代への講座を引き続き開催することで、認知症に対する知識や対応方法などを広く周知し、認知症に対する理解を深める。 |
| 4 | 健康こども部 | | 自殺予防に向け、生きるための包括的支援体制づくりの推進 庁内及び関係機関との連携を強化し、自殺に対する認識の浸透及び自殺防止につながる事業を実施する。また、市民ひとり一人がゲートキーパーとなり、社会全体で自殺防止意識の醸成を図る。 | ④ | 自殺者数は25名で人口10万人あたりの自殺死亡率は27.2で期待値を下回っている。 ・自殺防止に向けた普及啓発活動及びゲートキーパー養成講座を実施することで、相談窓口の認知度向上、相談対応力の向上につながっている | C (C) | 自殺防止に向けた普及啓発活動及びゲートキーパー養成講座を実施することで、相談窓口の認知度向上、相談対応力の向上につながっている。 ・新採用職員、全庁職員、企業職員向けゲートキーパー養成講座を開催し64名を養成した。 ・中学校2校を対象に講演会、市民を対象に講演会を開催した。 ・企業の産業保健師と県産業保健センターと情報交換を行った。 | 自殺者の統計は厚労省及び警察庁が公表しているデータでのみ把握することができ、要因や原因を特定することはできず、分析には限りがある。そのため、部門を超えた幅広い対策が必要。 | ◇いのちを支える自殺対策推進会議及び幹事会、ネットワーク会議、作業グループ会議を開催。 ◇働き盛り世代への支援について、市内企業・県産業保健総合支援センターとの意見交換会を開催。 ◇こころの体温計やこころの相談窓口一覧表の配布等メンタルヘルスの啓発に努める。 ◇ゲートキーパー養成講座を新採用職員及び庁内職員向けに継続実施。 ◇生徒及び教職員を対象にSOSの出し方・受け止め方教室を実施。 |
| 5 | 福祉部 | | ひきこもり支援の推進 ひきこもりに関するスキルの共有と専門性の向上を図り、併せて、具体的な支援施策に対する意見交換や評価などを行う「ひきこもりネットワーク協議会」を核として、専門性を持つ相談窓口や居場所づくり等のひきこもり支援を継続して実施する。 また、生活困窮に陥る可能性のある「ひきこもり」などの方に対して、自立相談支援機関の「アウトリーチ」による支援を継続して実施する。 | ⑤⑥ | ひきこもり支援のための居場所の延利用者数、アウトリーチ支援員等の訪問・出張面談の件数は、期待値を上回っている。 ひきこもりネットワーク協議会をプラットフォームとして、関係機関と市関係部局等のネットワーク機能が拡充されたほか、事例検討を通して顔の見える関係が構築されている。 | A (A) | ・「アウトリーチ支援」及び「ひきこもりサポート事業」を委託事業化し、継続的な支援体制を構築した。 一般市民や本人・家族に向けた周知・啓発活動(講演会等)を実施したことで、ひきこもりに対する理解が促進された。 高齢、児童、障がいなどの異なる分野における支援機関のネットワーク機能が強化され、各支援機関同士の顔の見える関係の構築につながった。 | | ◇委託事業を①「アウトリーチ機能」と②「居場所事業」に分け、市全体のひきこもり支援の調整機能である①を社会福祉協議会へ、②の主な内容である居場所事業を労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団へ委託し、2法人が中心となり市内のひきこもり支援実施体制を構築している。 ◇引き続き国・県に対しても財政的な支援を含め協力を依頼していることから、今後も継続的な支援体制の構築を目指す。 |

凡例 ●実績値 — 期待値

| 指標 | 指標の説明 | 実績値 | 期待値 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|--------|---|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| ① | 成年後見制度の認知度(介護・障がい福祉サービス事業所) 高齢者・障がい者のサービス提供事業所における制度の認知度 | 38.0 | 80.0 | 38.0 | 45.0 | 52.0 | 59.0 | 66.0 | 73.0 | 80.0 |
| 福祉部 | % | 実績値 | 期待値 | 備考 | 未調査 | | | | | |
| ② | 介護予防ボランティア登録者数 ご近所おたすけサポーター養成講座受講者数 | 209 | 500 | 209 | 230 | 259 | 331 | 391 | 452 | 500 |
| 福祉部 | 人 | 実績値 | 期待値 | 備考 | 累計 | | | | | |
| ③ | 人口に占める認知症サポーターの割合 人口に占める認知症サポーターの割合 | 9.6 | 15.6 | 9.6 | 10.0 | 10.3 | 11.6 | 12.8 | 14.6 | 15.6 |
| 福祉部 | % | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ④ | 自殺死亡率(人口10万人あたり) その地域の人口10万人対の自殺者数を示すもの | 18.33 | 15 | 18.33 | 19.45 | 20.57 | 24.9 | 27.2 | 15.56 | 15 |
| 健康こども部 | 人 | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ⑤ | ひきこもり支援のための居場所の延利用者数 居場所利用者数の延べ人数 | 0 | 600 | 0 | 963 | 1,979 | 1,955 | 2,477 | 500 | 600 |
| 福祉部 | 人 | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ⑥ | アウトリーチ支援員等の訪問・出張面談の件数 生活困窮者自立支援事業における、①自立相談支援 ②就労準備 ③子供の学習支援 ④アウトリーチ相談 ⑤ひきこもりサポート 各事業に係る相談者等の延べ人数。 | 156 | 250 | 156 | 580 | 535 | 395 | 357 | 234 | 250 |
| 福祉部 | 件 | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ⑦ | | | | | | | | | | |
| | | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ⑧ | | | | | | | | | | |
| | | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ⑨ | | | | | | | | | | |
| | | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ⑩ | | | | | | | | | | |
| | | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ⑪ | | | | | | | | | | |
| | | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ⑫ | | | | | | | | | | |
| | | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ⑬ | | | | | | | | | | |
| | | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ⑭ | | | | | | | | | | |
| | | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |
| ⑮ | | | | | | | | | | |
| | | 実績値 | 期待値 | 備考 | | | | | | |